



神奈川支部報

神奈川支部報 第30号

発行日：2025年1月20日

発行者：大槻利行

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部
海老名市上今泉 4-21-54-201 大槻方

神奈川支部長代行として 大槻利行副支部長が就任

この度、込田支部長からの退任届を受理し、支部長代行として大槻副支部長が就任されました。2025年5月での支部総会にて支部長就任の承認を得ましたら、正式に支部長となります。

ご挨拶

大槻利行

2024年10月17日の役員会にて、支部長代りを仰せつかりました。

2016年の支部設立より諸活動を進めてまいりましたが、今後はより一層山行計画が賑やかな支部活動にしたいと思っています。

もとより、登山は個々人の内面より登行欲求が始まります。山岳の自然環境と同行の仲間たちから多くの刺激を受け、成長すると共に更に登行意欲が高まるものです。温暖化で日本の四季が二季になってしまったような近年ですが、一年を通じて歩き続けられたらと思います。

ミドル、シニアの年代にも健康増進面で効力があると思います。

至らぬ点多いかと思いますが、支部運営と活動参加にお力を下さいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



退任のご挨拶

込田伸夫

2016年3月に設立された神奈川支部長として8年余りが経過しましたが、此度退任する運びとなりました。思い起こせば私の現役時代、森元日本山岳会会長（同じ職場）が、支部設立について私の研究室に尋ねてこられました。大学山岳部出身でない私がおもいましたが、日本山岳会丹水会などの縁もあり、支部設立に伴い支部長を引き受けることになりました。

印象に残っているのは森先生発案による「かながわ山岳誌プロジェクト」で、この成果は『かながわ山岳誌』として2024年2月に山と溪谷社よ

り刊行されたこと（11月に神奈川県山岳連盟70周年表彰団体）、さらに同年5月には日本山岳会創設者のひとり、岡野金次郎の第1回碑前祭が湘南平で開催され、同時に平塚で第37回全国支部懇談会を実施し、全国の会員の方々と親睦を深められたことです。開催にあたって役員、会員の皆様の多大なるご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。新しい支部長のもと人材豊富な神奈川支部が、より活発で楽しい支部になりますことを心より祈念申し上げます。

2025-3-15

猪熊隆之氏(気象予報士) による 山岳気象講演のお知らせ

猪熊隆之氏の「山岳気象のライブ授業」は好評でいくつかの支部で開催されていますが、神奈川支部でも以下の通り実施いたします。神奈川支部以外の会員や非会員の皆様にも門戸を広げて参加希望を募ります。ただし定員枠がありますので先着順での受付となります。

日時：2025（令和7）年3月15日（土）

場所：神奈川県民センター301会議室（定員90名）

講演内容

3/15(土) 13:30～16:30 座学（机上講習）

天気図の見方（基礎編）、風の読み方、丹沢・箱根などの気象特性、気象遭難の実態、気象遭難を防ぐために（天気図の見方の応用編）、情報化時代における天気予報等

参加費：無料

申込及び問合せ先

申込方法：氏名を記して kana.sec19@gmail.com 宛てに送信下さい。

問合せ先：森 090-4744-9584

注意)

3月16日の現地講習は、定員オーバーとなりましたので募集は、打ち切りとさせていただきます。

イベント報告

年次晩餐会

令和6年12月7日(土) 京王プラザホテルにて年次晩餐会、及び記念講演会が開催されました。年次晩餐会に先立ち行われました記念講演会では、1. グレート・ヒマヤラ・トラバース 6th 報告 2. 秩父宮記念山岳賞受賞記念講演「私のヒマラヤ山脈形成史の研究」坂井治孝氏、「蘇った神の鳥雷鳥」中村浩志氏 3. 特別講演「夜の山に抱かれて撮る山岳夜景」菊地哲男氏の3つのテーマで

発表が行われました。

17:00 から開会しました年次晩餐会は、約320人が出席され、そのうち神奈川支部からは15名の方が参加しました。

会長の挨拶から始まり、物故会員への黙禱、新永年会員顕彰、新入会員の登壇、秩父宮記念山岳賞表彰と続き、開宴となりました。

今回は、全国支部懇談会でお世話になりました全国の会員の皆さんに半年ぶりに挨拶ができて印象に残る晩餐会となりました。

(永井記)



年次晩餐会の一コマ(壇上での神奈川支部会員)

古道シリーズ

相州大山道を歩く

—大山道標を巡る旅—

葉上徹郎

【3—2】柏尾道をあるく（1日目後半）

《歩程》いずみ中央駅～高鎌橋（境川）～小田急江ノ島線長後駅（3.6km）

いよいよ1日目の後半戦である。県道22号線「いずみ中央駅入口」交差点を出発。西に進むと右側にガソリンスタンドがあり、手前の塀の角に珍しい阿弥陀如来石像と庚申塔の2基が祀られている。阿弥陀如来には文化12年（1815年）とある。2百年以上前のものだ。

少し西に進むと県道18号線と交差する「和泉坂上」交差点に出る。50m程進むと左斜めに入る道があるが、これが柏尾道旧道である。小さな公園を過ぎると右側



《5 庚申塔》

民家の庭に赤い鳥居が見える。ここが「かさもり稲荷」であろう。その前の道路側に舟型の庚申塔《写真5》を発見する。さらに下り気味に進むとT字路で突き当たりとなる。正面は、

境川である。以前は、まっすぐ旧高鎌橋で川を越えたようだが今、橋はない。一旦右に進み、再び県道22号線に出て左へ進むと新しい高鎌橋がある。境川を渡ると藤沢市に入り、すぐY字路になる。左は22号線で伊勢原、用田方面だが右の長後街道で大和、長後方面へ進む。数分で「上高倉」バス停があり、手前左側の細い道を50mほど行くと右の民家垣根の角に観音



《6 民家角の道標》

像と道標がある。《写真6》道標には「大山道」とある。地図及び実際の地形から考えると先ほどの舟形庚申塔下のT

路から境川に向い、かつて存在していたはずの旧高鎌橋をまっすぐ進むとこの場所に到達するはずである。ここから旧道と思われる細い道を進み、長後街道を突き切りさらに進む。数十m進んだ右の民家の塀の角にかなり破損した青面金剛の庚申塔がたたずんでいる。



《7 長後庚申堂》

再び長後街道に出て、藤沢湘南台病院の前を進み、国道467号線を越える。交差点から国道を数十m南に進むとスポーツセンターがある。こ

こを斜めに旧道に入ると左に庚申堂がある。《写真7》中には宝暦年間（18世紀半ば）のものといわれる庚申塔がある。このあたりは、かつての長後宿の一角であり、小田急江ノ島線の「長後」駅までは商店街を歩いてすぐである。本日は、出発点の「不動坂」バス停から約12.2km歩いた。2日目は、長後駅を出発して相模川まで歩いてみよう。本来は、もっと多くの道標が残されていたとは思いますが、今日は15カ所からの道標との出会いがあった。2日目も多くの道標との出会いが楽しみである。

（つづく）

山行報告

山中城

城跡ハイキング

令和6年9月14日(土)

今年度2回目の城跡ハイキングです。

今回は静岡県三島市にある山中城跡です。箱根外輪山から三島に向かっての尾根上にある小田原北条氏の城で、「障子堀」で有名。「日本100名城」にも指定されています。参加者は会員9名、一般応募者11名。

小田原駅東口5番バス乗り場に9時45分に集合し、10時発の伊豆箱根バスの箱根関所跡行に乗車。元箱根港で東海バスに乗り換え、11時48分山中城跡バス停で下車。

山中城は標高580m位置し、北条氏の「境目の城」として天正18年(1590)秀吉の小田原攻めに際して秀吉軍を迎え撃ちましたが、守備隊より10倍以上多い攻撃陣を前に、善戦空しく半日で落城し、以後廃城となりました。城跡は国史跡に指定されており、三島市教育委員会が昭和47年から環境整備事業に着手し、史跡の公有地化、発掘調査と環境整備を進め、平成5年に終了。土塁や堀は風化や霜害を防ぐため、30cm～1m程度盛土し芝を張っています。現在は「山中城跡公園」として一般公開されています。



参加者記念撮影

山中城跡バス停は既に城跡の中です。三ノ丸に入り、田尻の池と箱井戸の間の階段を登り西ノ丸に上がると、障子堀が見え始め、障子堀越しに富士山が姿を現しました。愛鷹連峰、沼津アルプス、駿河湾も見え、しばし撮影タイムとなりました。西櫓に登り記念撮影。そのあと美しい障子堀を右手に見ながら進み、広い四阿で昼食となりました。昼食後、木立のなかを進んで広く気持ちの良い広場となっている北ノ丸を経て最高地点の天守台に登りました。木の根がびっしり張っていて、建物の土台等は見つかっていないとのこと。芝

生の美しい本丸、二ノ丸を通り、行きに通った箱井戸の横を進み、山中城武将の墓を見て、わずかな距離旧東海道を歩いて13時20分にバス停に着きました。



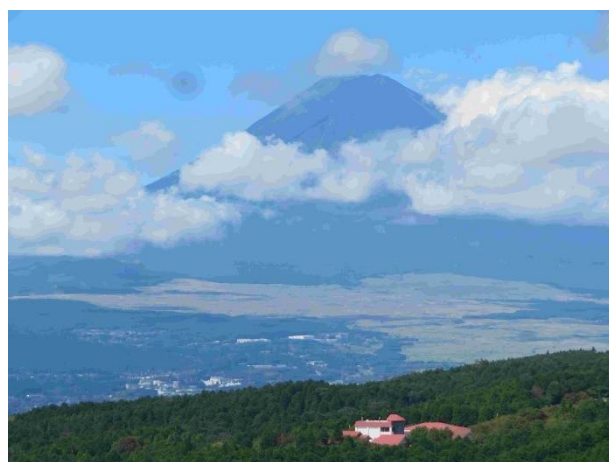
障子堀と富士山

帰路は、往路と同じバス便で戻りました(山中城跡13時53分、小田原駅15時40分)。箱根のバス路線やバス停は会社によって異なり、利用者にとって戸惑います。

山中城跡はよく手入れされ、パンフレットも備えられており、城跡ハイキングには絶好の場所です。見学している時間より、バスに乗っている時間の方がはるかに長いというのが難点ですが、それを差し引いてもなお余りある楽しみがありました。

私事になりますが、私(中島)は城跡ハイキングのリーダーでありながら、足腰の痛みのため久しぶりの参加となりました。まだ完治とはいかず不安がありましたが、無事に終わられてほっとしました。

(中島記)



富士山の眺望

<行程>

小田原駅東口 10:00～(伊豆箱根バス)～11:10
元箱根港 11:25～(東海バス)～11:48 山中城跡
(見学・昼食)13:53～(東海バス)～14:10 箱根関

所跡 14:25～(伊豆箱根バス)～15:40 小田原駅東口



障子掘

<参加者>

会員：高井、高井(紀)、堀江 丸山、関口、込田、渡邊、砂田、中島 9名

一般応募者： 11名

南高尾セブンサミッツ

支部山行委員会

令和6年9月21日(土) 晴

少々体力を要する山行をということで、南高尾セブンサミッツを今回計画。但し、今回、グループを2つに分け、Aグループは高尾山+南高尾セブンサミッツとし、Bグループは高尾山なしとして距離を短くし、参加人数を増やすことにした。

Aグループは、8:22 高尾山口駅をスタート。しかし、9月下旬にもかかわらず、まだ残暑が続いているので6号路で高尾山頂上を目指す。



高尾山 大見晴台からの富士山

沢沿いは涼しいと目論んだが、水量は少なく、全然そんなことはなかった。顔から噴き出す汗をタオルで拭きながら頂上に到着。大見晴台からの眺望では丹沢が雲に覆われていたにもかかわらず、富士山の頭は、しっかりと見えていた。

その後、大垂水峠橋手前でBグループと合流。本来であれば、金毘羅山で合流だったのだが、バスが遅れたため、ここで合流してしまった。

Bグループと合流した後、最初のセブンサミッツである大洞山を通り、金毘羅山に到着。ここでランチタイムとした。



金毘羅山での集合写真

ランチタイム後、アップダウンを繰り返し、中沢山、入沢山、泰光寺山とセブンサミッツのうち5山をクリアして三沢峠にて小休止。ここで今日は、とにかく暑くて熱中症が怖いという判断から6山めの榎窪山まで行き、7山めの草戸山は諦め、峰の薬師に下ることにした。



6山めのサミッツ：榎窪山

榎窪山から峰の薬師に向かう。峰の薬師(薬師堂)を参拝した後、南下していく。県道513号線に出た所で、峰の薬師入口バス停の時刻をスマホで調べると、16分後に橋本駅北口行きのバスがあることが分り、急いでバス停に向かう。こうし

て最後は、1時間に1本しか走っていないバスにタイミングよく乗ることができた。(永井記)

<行程>

A グループ 高尾山口駅 8:22~9:55 高尾山 10:10~11:00 大垂水~11:40 大洞山 11:50~12:05 金毘羅山 12:30~12:52 中沢山 13:00~13:35 入沢山 13:40~14:10 泰光寺山 14:20~14:30 三沢峠 14:40~14:45 榎窪山~15:20 峰の薬師 15:35~15:55 峯の薬師入口バス停

B グループ

大垂水 10:55~大垂水峠橋にてAグループと合流
<参加者>

A グループ 森、葉上、永井の3名

B グループ 渡邊、大字、丸山、込田、森(静)、関口、富岡の7名

牧野記念庭園と石神井公園

自然観察会

令和6年9月28日(土) 薄曇り

西武池袋線大泉駅に集合し、牧野記念公園を訪ね、その後、石神井公園を散策し自然観察を行いました。

まず初めは、駅から約10分程の牧野記念庭園に行きます。この庭園は、牧野博士が晩年を過ごした屋敷跡を練馬区が公園として整備し、一般公開しています。園内には、大木や本木類と草木が合わせて約300種生育しています。

庭園に入るとすぐに、尽くしてくれた妻に感謝の意を込め命名した新種のスエコザサがあり、その左手奥には、またスエコザサに囲まれた博士の胸像があります。



牧野博士の胸像

ダイオウマツやメタセコイアの大木やシロバナマンジュシャゲなどを観察し、博士の書斎あとの

「糸條書斎」

(草木がやどる書斎の

意) や生い立ちや集めた標本などを展示する

記念館を見学しました。博士の人となりや植物に対する探究心が見て取れました。

庭園を後に、ゆっくり歩いて、およそ40分で石神井公園に着きます。石神井公園は、三宝寺池と石神井池を中心とした都立公園で、武蔵野の自然がよく残されています。

公園内石神井池側にあるふるさと文化館の休憩コーナーで昼食とします。

昼食後は、石神井公園に隣接する池淵史跡公園の一角にある練馬区指定文化財の旧内田家住宅を觀てから三宝寺池へ向かいます。

三宝寺池側に入ると、まずひょうたん池があり続いて水辺観察園の池、さらに進むと三宝寺池となります。三宝寺池は井之頭池、善福寺池と並ぶ武蔵野三大湧水池の一つで、昔は湧水が懇々とわいていましたが、宅地化により水勢が弱り、今ではポンプにより汲み上げている状況です。池のなかの小さな浮島は、国の天然記念物に指定された浮島沼沢植物群落があり、以前の環境を回復する管理を進めた結果、ミツガシワ、ハンゲショウ、コウホネ、カキツバタなどが増え、消滅した植物も回復しているとのことです。メタセコイアの大木が茂る湖畔を進み、安芸の宮島の厳島神社の分社とその脇にある観察東屋、豊島氏の石神井城跡を見て、再び石神井池側に入ります。

石神井池は、三宝寺池からの水を利用し人工的に作られた池で、ボートなどに乗ることができるため、ボート池として親しまれています。こちらの池沿いにもメタセコイアが生育しており、同類種のアサギショウもあり、メタセコイアとアサギショウが混在しているところがあり、その違いを比較するのに好適地がありました。アサギショウは、根元の近くに気根が出ていて目につきますし、葉の針葉は、互生で違いが分かります。しばらく進むとボート乗り場となり、石神井公園の入口に出ます。



集合写真

ここから10分程で、石神井公園駅に出て、

観察会は終わりとなりましたが、解散後、懇親会を開催して交流深めて、本日の観察会は本格的に終了となりました。

<付記>

観察した主な動植物

本木：ダイオウマツ、センダン、メタセコイア、ラクウショウ、ユリノキ、ヤマザクラ、ヘラノキ、スイフヨウ、ユッカ、シマトネリコなど（メタセコイア、ラクウショウ、ヘラノキは練馬の名木に指定）

草木：（アレチ）ヌスビトハギ、ガガイモ、ガマ、スイレン、ミツガシワ、ヤブミョウガなど

野鳥：カルガモ、アオサギ、オナガ、カワウ、シジュウガラ、カワセミなど

昆虫類：アオスジアゲハ、キチョウ、オニヤンマ、ツクツクボウシなど

（渡邊記）

<行程>

大泉学園駅 10:30～10:40 牧野記念庭園 11:30～12:20 石神井公園ふるさと文化園（昼食）13:00～13:05 石神井公園（宝寺池、石神井池など）14:25～石神井公園駅解散 14:40

<参加者>

込田夫妻、國清、細川、渡邊の計5名

大磯・高麗山のみち

関東ふれあいの道

令和6年10月12日（土） 晴

今回は4回目の大楠山以来、高麗山を登るといふ久々の登山ルートだ。平塚駅南口からバスで西海岸にて下車。ここがスタート地点となる。

花水川を渡り、高来神社を通り、女坂経由で登っていく。最後に石段を登り詰めれば高麗山頂上だ。頂上ではあるが樹林に囲まれているので展望は無し。ここで小休止した後、湘南平に向かう。



岡野金次郎碑の前で記念撮影

尾根筋のアップダウンの後、湘南平に到着。ここで岡野金次郎碑の前で記念撮影。

湘南平は360度の展望が広がるのだが、残念ながら今日は、富士山と大島には雲があり、見る事ができなかった。

湘南平を出発し大磯の方へ下っていく。こゆるぎの浜で相模湾を眺めた後は、西湘バイパス沿いに続くサイクリングロードを歩いていく。その後、国道1号線に向かい、旧吉田茂邸に到着。

ここで希望者は邸内を見学。そして旧吉田茂邸から歩いて5分後、ゴールである城山公園前バス停に到着した。（永井記）



旧吉田茂邸での吉田茂似顔絵

<行程>

西海岸バス停 9:45～10:09 高来神社 10:16～10:55 高麗山 11:00～11:50 湘南平（ランチ）12:27～13:24 こゆるぎの浜 13:37～13:55 旧吉田茂邸 14:55～15:00 城山公園前バス停

<参加者>

森、稲垣、高井（紀）、関口、丸山、打矢、中島、込田、高砂※、永井の10名

※他支部員

日和田山・物見山

南関東ブロック三支部合同懇親会山行

令和6年10月20日（日） 晴

今回の南関東ブロック三支部合同懇親会山行は、埼玉支部殿ご担当の下、日和田山・物見山となりました。神奈川支部として3名が参加する予定でしたが、病気等で結局1名参加となりました。

高麗駅で集合し、埼玉支部林事務局長から本日の日和田山・物見山は、田部井淳子さんが晩年リハビリのためにご主人とよく歩かれた山であり、現在では田部井さんを慕う方々やご主人は、この命日の他、毎月20日の月命日に、この日和田山・

物見山コースを歩かれていることを聞きました。

9:30 高麗駅を出発し、日和田山登山口の駐車場手前に建つ田部井淳子顕彰碑の前に到着しました。今日は田部井さんの命日ということで花束が供えられてました。



田部井淳子顕彰碑

日和田山へは、女坂経由で登ります。ちょうど小学生の団体と一緒に登山道は賑やかでした。ようやく着いた日和田山頂上は、大勢の登山者で大混雑でした。頂上から東京スカイツリーを眺めた後、すぐに出発し物見山へ向かいます。

物見山では今日、田部井淳子さんの命日であるため、これまた大勢の人が集まっていました。ランチタイムの後、田部井淳子さんのご息から挨拶があり、次に田部井さんが実施してきた東北の高校生を富士山に連れていくプロジェクトは、その後も大勢の方々のボランティアに支えられ、もうすぐ800人に達するとの事をお聞きしました。またご主人からの挨拶では、列席の人々に対して御礼の言葉を戴きました。



物見山にて田部井さんの遺影を囲む

物見山から来た道に戻ります。途中、茶店にて物見山と日和田山のバッチを購入しました。その際、店の人から今日は田部井さんの件で来られたのですかと質問されました。地元の方も命日は認識されているようです。

その後、日和田山頂上は巻道を通りましたが、高麗駅まで戻ってきました。(永井記)

<行程>

高麗駅 9:28~9:48 顕彰碑 9:52~9:55 登山口~<女坂>~10:29 金刀比羅神社~10:52 日和田山~11:58 物見山 13:01~14:39 金刀比羅神社~<女坂>~15:39 登山口(解散) 15:53~15:54 顕彰碑~16:10 高麗駅

<参加者>

永井 (他支部で34人)

石垣山城

城跡ハイキング

令和6年11月9日(土)

今年度4回目の城跡ハイキングです。

今回は小田原市にある石垣山城です。天正18年(1590)の秀吉の小田原攻めに際して一夜にして築かれたとして「一夜城」の異名があります。約80日間の突貫工事で秀吉が入城していますが、この段階では本丸御殿までが作られた状況であったと思われます。関東初の総石垣の城です。

箱根登山鉄道 入生田駅に10時30分に集合。駅からは生命の星・地球博物館の脇を通り、太閤橋で早川を渡り、あとは舗装路の登りを歩きます。左斜面はずっと石垣が続き、その上に所々石積の段々の茶畑があります。切り出された大きな石が道路脇に放置されていました。左に大きく曲がるところで、歩道は右の巻道に入り、今日一番の急な階段を登り分岐に着きました。ここで10分休憩。出発して直ぐに左下に石切り場跡があり見学。切り出された石は、ここから海岸まで下され、



段々の茶畑

船で江戸まで運ばれて江戸城の石垣に使われた

とのこと。ここから箱根ターンパイクを越えてまもなく石垣山城に到着しました(12時)。

石垣山城の名前のいわれとなった石垣は、関東大震災などの度重なる地震によって大半は崩壊しましたが、残存部分と大量の転石から往時の姿をしのぶことができます。南曲輪から西曲輪へと進みます。西曲輪は平坦な大きな曲輪で、ここで昼寝したら気持ちいいだろうと思わせます。枳形の入口を通過して本丸に入ります。本丸北端から小田原城が望めます。周りのビルに溶け込んでいて最初はわかりませんでしたが見つけることができ一同大満足です。天守台に登り、広大な二の丸に降り、ここでゆっくりと昼食休憩をとりました。



城内での記念撮影

石垣山城は標高 261m に位置し、現在は「一夜城歴史公園」として整備されており、眺望にも優れ、とても気持ちの良いところです。昼食後に井戸曲輪を見学。四方を石垣に囲まれ底に水場(井戸)がある曲輪で、秀吉が石垣造りのプロ集団「穴太衆(あのうしゅう)」を近江から呼び寄せて造らせたものです。度重なる地震にも耐え、今も底に水が流れるのを見つけて感動しました。東曲輪を通過して14時30分石垣山城を後にしました。急な舗装路を景色を楽しみながらひたすら下ります。途中海蔵寺によって15時30分 JR早川駅到着。ここにて解散。小春日和の穏やかな日で、眺望も優れた楽しい城跡ハイキングが楽しめたものと自賛しています。(中島記)

<行程>

箱根登山鉄道 入生田駅 10:30~11:20 分岐 11:30~(石切り場)~12:00 石垣山城(見学・昼食) 14:30~14:40 分岐~15:30 JR 早川駅

<参加者>

会員：森、丸山、大字、高井、森(静)、関口、込田、渡邊、砂田、中島 10名

一般応募者： 8名

鷹取山・里のみち

関東ふれあいの道

令和 6 年 12 月 1 日(土) 晴

今回の関東ふれあいの道(神奈川県版)は、8回目となり、三浦半島から湘南の海岸エリアを経て、いよいよ北上していくコースとなった。

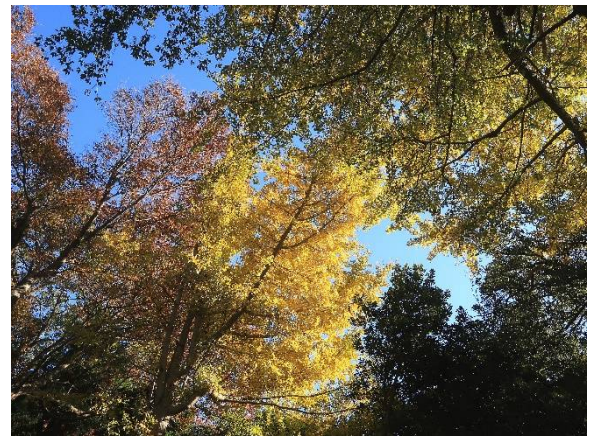
今回の出発点は月京バス停で、鷹取山に登り、妙円寺(土屋銭洗弁財天)、土屋一族の墓に立寄り、ゴールは金目川の南平橋バス停となっている。

9:18 月京バス停を出発。いきなりコース上の国府橋が工事中のため迂回路を歩く。但し距離的には正式ルートと変わらないと思えた。

やがて新幹線の奥に鷹取山が見えてきた。新幹線の下を通過し、続いて小田原厚木道路の下をくぐる。すると、登り道となり、鷹取山の登りに入ったことを実感する。意外と急坂が続き、息が切れる。

その後、尾根筋の道を進むが、突然、鷹取神社の鳥居が前方に現れた。この先は、タブノキ、スダジイ、カゴノキなどの常緑広葉樹林となる。階段道を歩いていく途中に特徴的な樹皮のカゴノキを何本か見つけた。

登りが緩やかになって鷹取神社に到着。ここで小休止した後、奥の鷹取山頂上に向かう。



鷹取神社の黄葉

神社から 2、3 分で鷹取山頂上到着。ここも樹林に囲まれ展望はない。三角点がポツンとあるだけだ。

ということで、北側に下っていく。すると途中、左手に富士山の展望地に出た。ここは、以前、かながわ山岳誌 PJT で歩いた所でもあるのだが、その時は植林帯だったのだが、その後、伐採したようだ。



ゴルフ場の先に富士山

妙円寺に向かって下っていく途中、路傍休憩所にてランチタイムとする。ここにはテーブルがあり、丹沢のビューポイントになっていた。



路傍休憩所からの丹沢

細い一本道の車道を進み、妙円寺(土屋銭洗弁財天)に到着。ここは、ご利益を得るために入場することにした。洗い札というものを購入し、お金と一緒に銭洗い池で洗う。これで儀式は終了だ。だが、ここには、その池の奥に岩屋霊穴という洞窟があり、そちらも見学した。後でわかったのだが、本来の手順は洞窟を参拝した後に銭洗いだった。



岩屋霊穴の内部

妙円寺を出発し、土屋一族の墓を訪問する。ここは、平安時代末期から鎌倉時代にかけて活躍し

た土屋三郎宗遠の一族の地である。宗遠は頼朝の平家討伐の旗揚げとなった石橋山の合戦から頼朝側近の武将として富士川の合戦、一ノ谷の合戦、屋島・壇ノ浦の合戦など数多くの戦に出陣し鎌倉幕府樹立に貢献した。



土屋一族の墓の前にて

続いて土屋城址を訪れるが、現在では、ここが城址?と思えるような光景だ。説明板によると、昭和30年代に開発が急速に進んだため、かつての面影が見られないと記載されてあった。

台地に上がり、大乘院、熊野神社の前を通り、坂道を下っていくと金目川が見えてきた。その先にゴールの南平橋バス停を見つけた。(永井記)

<行程>

東海道線二宮駅 9:05=(バス)=9:18 月京バス停
 ~10:38 鷹取神社 10:47~10:50 鷹取山 10:54~
 11:51 路傍休憩所 12:30~12:53 妙円寺 13:14~
 13:35 土屋一族の墓 13:45~13:48 土屋城址~
 13:51 大乘院~14:13 南平橋バス停 14:31=(バ
 ス)=14:58 秦野駅解散

<参加者>

支部会員：稲垣、大字、丸山、森(静)、関口、東山夫妻、永井の8名

一般応募者：2名 合計10名

鋸山

晚餐会山行

令和6年12月8日 快晴

晚餐会翌日の山行は、千葉県鋸山との案内があり、今まで千葉県の山には登ったことがなかったので参加することにした。

JR利用で9:10、浜金谷駅に到着。ここでメンバーが集合し、3グループに分かれて9:37出発する。すぐさま山道となる。石畳のような道となり、これが車力道跡で、石切り場からねこ車と呼

ばれる荷車に約 80kg の房州石を 3 つ載せて運んだという。なお、運搬する人は車力と呼ばれ、主に女性の仕事だったらしい。

やがて右手に大きな石切り場が見えてきた。さらに洞窟のような石切り場が現れる。



石切り場跡(吹抜洞窟)

不思議なことに下の方を切り取っていて上部が残っている。そんな石切り場跡を過ぎると急な階段道となった。これは手摺がないと登れないぐらい急で、一部段差が大きかった。それをクリアすると展望台下に到着。展望台は帰りに立寄ることにし、この先の鋸山頂上に向かう。

稜線歩きはアップダウンの連続となる。これは、なかなか侮れないルートだと思えた。

ようやく鋸山頂上に到着。ここは、北側の展望だけが開けていた。東京湾のブルーが濃い。



鋸山頂上にて

頂上を後にして再び展望台下に戻ってきた。ここでランチタイムした後、展望台に向かう。

展望台からは 360 度の光景が広がった。これは、これはと富山方面の山々、保田漁港あたりの海岸線、大島方面、丹沢方面と素晴らしいパノラマ光景だった。特に丹沢方面は、普段見たことのない方向からの眺めだったのでとても新鮮だった。



大島方面の眺め



丹沢・久里浜方面の眺め

展望台から再び石切り場跡に向かう。観音洞窟と呼ばれる石切り場はアートの世界かと思えるような光景だ。



石切り場跡(観音洞窟)

次の石切り場跡に向かう。岩舞台と呼ばれる所だ。見上げるような大規模な石切り場跡だ。当時使用されていた機械類は、赤錆のまま設置

されてあった。



石切り場跡(岩舞台)

石切り場跡の見学が終わり、尾根筋の道を下っていく。観月台にて富士山を望む。今日はずっと頭に雲が纏わりついてきたのだが、ようやく今、雲が消えたが、靄ってしまい、風景としては今一つだった。



観月台からの富士山

車力道コースとの合流点に到着。ここにて案内役リーダーの挨拶があり、解散となった。

帰りは、浜金谷駅を通り過ぎ、フェリーにて久里浜に渡った。

今回、初めての千葉の山だったが、予想以上に興味深い山行となった。石切り場と言えば、横須賀市追浜の鷹取山ぐらいの石切り場しか見たことがなかったが、スケールの違いに脱帽。また、そのような場所を安全に歩けるように整備されていることが印象的だった。(永井記)

<行程>

JR 浜金谷駅 9:37~9:51 分岐点~<車力道>~
11:08 石切り場跡(吹抜洞窟)~11:17 展望台下~
11:42 鋸山頂上 12:01~12:20 展望台下 12:40~
12:43 展望台 12:51~13:12 石切り場跡(観音洞窟)~
13:19 石切り場跡(岩舞台) 13:32~14:13 観
月台~14:26 合流点(解散)~14:46 フェリー乗場

<参加者>

大槻、葉上、永井の3名。他、他支部で31人



集合写真

忘年山行(見晴台・下社)

支部山行委員会

令和6年12月15日 晴

大山コマ参道にあるねぎし旅館にて今年もジビエ(鹿、猪)鍋や豆腐鍋を食する忘年山行を実施した。昨年は、蓑毛がスタート地点だったが、今年は日向薬師からとした。

日向薬師バス停を出発し、東へ続く1本道を進む。左手に浄発願寺、右手に石雲寺へ続く分岐路を見た後、分岐点に到着。舗装路といえども、徐々に斜度が上がっていく。汗が出てくる頃に左手に登山路を見て小休止。

ここから登山道に入るが、いきなり木橋が現れ、これがよく揺れるのでメンバーは慎重に一人ずつ渡っていく。



揺れる木橋

植林帯の登りは丹沢に多いが、ここは全く周囲の景色が見えないのでどのくらい登ったのかも相対的にわからないので結構辛い登りだ。

やがて勝五郎地蔵に到着。ようやく植林帯の登りが一段落となる。その後水平道歩きとなるが、やがて見晴台近くまで来ると再び急登となった。



勝五郎地蔵

見晴台に到着すると大山頂上が青空の下、クッキリ見える。ここで小休止。



見晴台

見晴台からはほぼ水平に歩き、二重滝の前を通り、下社に参拝する。石段下でのモミジの紅葉は、



下社石段の下での紅葉

もうどうにか葉がついているだけの様な感じだった。その後は、女坂を下り大山寺に向かう。

大山寺のモミジも下社と殆ど同じような状況だった。コマ参道を下り、ねぎし旅館に到着。



猪鍋

ここで旅館直行組のメンバーと合流し、鹿、猪、豆腐鍋に分かれてテーブルを囲む。私は、猪を選択したが、思った以上に肉がやわらかくて食べやすい。酒を飲みながら舌鼓を打った。最後に宿の女将さんとその息子さんを囲み、記念撮影。こうして2024年の忘年山行も無事終了となった。

(永井記)



ねぎし旅館内にて記念撮影

<行程>

日向薬師 8:32~9:05 分岐点 9:10~10:19 勝五郎地蔵 10:28~10:51 見晴台 11:00~11:43 下社 11:46~12:05 大山寺 12:08~12:28 ねぎし旅館 14:00~14:14 大山ケーブルバス停(解散)

<参加者>

葉上、大槻、森、森(静)、丸山、本村、関口、込田、大字、永井の10名

ねぎし旅館合流：砂田、打矢、野田、長島の4名
合計14名

役員会報告

7月役員会

日時：令和6年7月18日(木)：19:00～20:45

場所：かながわ県民センター709会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、中島、長島
オンラインでの参加：落合、早川

委任状による出席：渡邊、青木、柴山、植木、田島、出江、葉上、大槻

[報告事項]

(1)連絡事項

・令和6年JAC定期総会が6/22開催。各議案が承認され、入会金の減額(2万→1万)が7/1より施行される。

[審議事項]

(1)年間計画

・今後の予定を確認した。なお役員会のスケジュールを下記のように変更した。(本日、支部連絡会と重複することが判明したため)

9/19(木)→9/18(水)

12/19(木)→12/18(水)

(2)山行計画

・8/3～8/5に長岡の花火大会見学と笹ヶ峰信濃自然ハイキングは、山想クラブとつくも会との共催。リーダーは小笠原会員。主な日程は以下のとおり。(前回から変更なし)

8/3 11:30JR北陸新幹線『上越妙高駅』集合。(東京駅9:32発はくたか557号乗車)～妙高にて昼食=(車)14:30長岡着～買い物その後丘陵公園駐車場=(シャトルバス)=会場(場所確保)～19:00花火大会開園～21:00花火大会終了=(シャトルバス)=丘陵公園=(車)=23:00妙高『ユアーズ・イン』帰還

8/4 8:00宿出発=(車)=9:00笹ヶ峰～10:00周遊歩道入口～12:00笹ヶ峰乙見湖～15:00笹ヶ峰牧場着=(車)=16:00赤倉ユアーズ・イン着

8/5 9:00宿出発=(車)=黒姫高原信濃自然歩道入口～13:30苗名滝入口着(昼食)～14:30妙高高原駅着(解散)

・城跡ハイキング(山中城)を9/14に実施予定。

JR東海道線小田原駅東口5番バス乗り場9:45集合。JR小田原駅東口10:00-(伊豆箱根バス箱根関所跡行0:48)-10:48元箱根港11:25-(東海バス0:14)-11:39山中(山中城跡見学・昼食)山中城跡13:45-(0:23)-14:08元箱根港14:13-(0:47)-14:50小田原駅東口

・山行委員会主催で9/21に、南高尾セブンサミットの山行を実施予定。(前回から変更なし)

健脚コース：8:30高尾山口駅集合。

高尾山口駅8:35～10:10高尾山10:15～11:10大垂水～11:40大洞山～11:50コンピラ山12:20～12:40中沢山～入沢山～13:20西山峠13:25～泰

光寺山～13:55三沢峠14:00～榎窪山～14:30草戸山14:40～15:50四辻15:55～16:15高尾山口駅

一般コース：10:15高尾山口駅集合。

高尾山口駅10:24=(バス)=10:36大垂水10:45～11:20大洞山11:25～11:35コンピラ山以降は健脚コースと合流

エスケープコース：草戸山から大戸へ下山し、バスで横浜線の相原駅または橋本駅へバス乗車。

・自然観察会として9/28に、大泉学園駅～牧野記念庭園～石神井公園ふるさと文化館(昼食)～石神井公園(三方池、石神井池など)～石神井公園駅を実施予定。(前回から変更なし)

・関東ふれあいの道7として10/12に大磯・高麗山のみちを実施予定。

集合場所：平塚駅南口(※海側)22番バスのりば9:10集合。平塚駅南口(9:20)=(バス)=(7:32)西海岸バス停(7:45)～下花木橋～(8:25)高来神社～(8:55)高麗山(9:05)～(9:30)浅間山～(9:50)湘南平(10:05)～(10:55)こゆるぎの浜(11:05)～(11:40)旧吉田茂邸(12:15)～(12:20)城山公園前バス停=(バス)=平塚駅北口

(3)その他

・永井より、県岳連イベントでのスタッフ参加依頼が出された。

・8/11開催のかながわ山の日inはだの2024「ゲーム形式で楽しくハイキング」：込田、渡邊、早川、永井が参加予定

・10/14開催の親子、里山オリエンテーリング：早川、永井が参加予定(資料4-9)

・永井より、ZOOMの使用料金の値上げ通知(1,150円アップ/年)が出され承認された。

・永井より、JAC入会申込書でのデジタル化について説明があった。従来の紙ベースだけでなく、電子化(ハンコ廃止)での提出も可となった。

・永井より、Googleドライブの活用について説明があった。役員に対してメールアドレスおよび初期パスワードが渡され、Googleドライブへの登録をお願いした。

・永井より、役員からの回答を反映した「今後の支部体制の前に」資料について説明があった。資料を整理すると会員増加の面では、支部サイトの拡充→会員・会員外への企画公開→イベント実践→支部サイト拡充のサイクルを回すことが重要で、その体制が課題と考えられた。

9月役員会

日時：令和6年9月18日(水)：19:00～20:45

場所：かながわ県民センター705会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、森、葉上、中島、出江

監事：高井

オンラインでの参加：大槻、早川、落合、渡辺、

長島

オンラインでの参加の監事：砂田

委任状による出席：柴山、田島

[報告事項]

(1)山行報告

・8/3～8/5 に長岡の花火大会見学と笹ヶ峰信濃自然ハイキングが実施された。山想クラブとつくも会との共催。当支部からはリーダーの小笠原さんを含め4名が参加した。

8/3は長岡花火大会の見学、8/4は笹ヶ峰ハイキング、8/5は黒姫高原信濃自然歩道の散策を実施した。

・9/14に城跡ハイキングとして、小田原東口＝(バス)＝元箱根港＝(バス)＝山中城跡(山中城跡などを見学・散策)＝(バス)＝箱根関所跡＝(バス)＝小田原駅東口を実施。参加者は会員9名と一般11名の計20名。

[審議事項]

(1)年間計画

・12/14に大山でハイキング後に忘年会を企画予定(担当：葉上)。

・来年度の支部総会は5/24を予定。

(2)山行計画

・山行委員会主催で9/21に、南高尾セブンサミットの山行を実施予定。

健脚コース：8:30 高尾山口駅集合

高尾山口駅～高尾山～大垂水～大洞山～コンピラ山～中沢山～入沢山～西山峠～泰光寺山～三沢峠～榎窪山～草戸山～四辻～高尾山口駅

一般コース：10:15 高尾山口駅集合

高尾山口駅＝(バス)＝大垂水～大洞山～コンピラ山 以降は健脚コースと合流

参加希望者は、Aコース3名、Bコース6名。留守本部は、中島と出江が担当。

・自然観察会として9/28に、大泉学園駅～牧野記念庭園～石神井公園ふるさと文化館(昼食)～石神井公園(三方池、石神井池など)～石神井公園駅を実施予定。参加希望者は6名。

・関東ふれあいの道の第7回として、10/12に平塚駅南口＝(バス)＝西海岸バス停～下花水橋～高来神社～高麗山～浅間山～湘南平～こゆるぎの浜～旧吉田茂邸～城山公園前バス停＝(バス)＝平塚駅北口を実施予定。参加希望者は7名。

・埼玉支部主催で、10/20に南関東ブロック三支部合同懇親山行を日和田山で実施予定。当支部からは2名が参加予定。

・城跡ハイキングとして、11/9に入生田駅～分岐①～分岐②～石垣山城跡(見学・昼食)～分岐③～早川駅を実施予定。

(3)その他

・永井より、11/17に開催予定の県岳連70周年記念式典と講演会の内容と申し込み方法についての説明があった。

・永井より、県岳連70周年記念誌に掲載する当支部の紹介原稿についての説明があった。

・永井より、10/14に開催される県岳連主催のイベントへのスタッフとしての参加協力の依頼について説明があった。永井と早川が参加。

・森より、9/29に実施する学術講演会の準備状況の説明があり、スタッフとしての協力要請があった。また、その際に行うアンケート調査についての説明があった。

・中島より、来年度以降の岡野金次郎碑前祭の実施体制について説明があり、開催時期は5月の第2土曜日とし、来年は5月10日に行う。支部内に実行委員会を設置して継続的な実施体制を整える。

・葉上より、古道プロジェクトに関して、県内の3つのコースをJACのホームページに掲載した旨の報告があった。

・永井より、次期体制の検討会の検討状況についての説明があった。

10月役員会

日時：令和6年10月17日(木)19:00～20:30

場所：かながわ県民センター709会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、葉上、中島、柴山

オンラインでの参加：大槻、早川、渡辺、落合、森、出江、植木

オンラインでの参加の監事：砂田、高井

委任状による出席：長島、田島、廣岡

[報告事項]

(1)山行報告

・山行委員会主催で9/21に、南高尾セブンサミットの山行を実施。

健脚コース：高尾山口駅～高尾山～大垂水～大洞山～コンピラ山～中沢山～入沢山～西山峠～泰光寺山～三沢峠～榎窪山～峰の薬師～参道入口＝バス＝橋本駅

一般コース：高尾山口駅＝(バス)＝大垂水 ここで健脚組と合流。

参加者は、健脚コース3名、一般コース7名。当初予定していた榎窪山～草戸山～高尾山口駅のコースは猛暑のため中止とした。

・自然観察会として9/28に大泉学園駅～牧野記念庭園～石神井公園ふるさと文化館(昼食)～石神井公園(三方池、石神井池など)～石神井公園駅を実施。参加者は5名。

・10/12に、関東ふれあいの道の第7回として、平塚駅南口＝(バス)＝西海岸バス停～下花水橋～高来神社～高麗山～浅間山～湘南平～こゆるぎの浜～旧吉田茂邸～城山公園前バス停＝(バス)＝平塚駅北口を実施。参加者は10名。

[審議事項]

(1)年間計画

・今後の予定を確認した。

(2) 山行計画

・埼玉支部主催で、10/20に南関東ブロック三支部合同懇親山行を日和田山で実施予定。当支部からは3名の参加希望者がいたが2名がキャンセルし、現時点では1名。

・城跡ハイキングとして、11/9に入生田駅～分岐①～分岐②～石垣山城跡(見学・昼食)～分岐③～早川駅を実施予定。参加希望者は6名。

・山行委員会主催で、11/16に甲斐大和駅=(バス)=上日川峠～福ちゃん荘～雷岩～大菩薩岳(嶺)～雷岩(昼食)～大菩薩峠～石丸峠～石丸峠入口～上日川峠=(バス)=甲斐大和駅を実施予定。これから募集を開始する。留守本部は、永井と中島が担当。

・山行委員会主催で、12/15に伊勢原駅北口=(バス)=日向薬師BS～学習センター～日向越(雷峠)～見晴台～阿夫利神社下社～(ケーブル利用可)～大山ケーブル駅～ねぎし旅館(昼食)～大山ケーブルBS=(バス)=伊勢原駅北口を実施予定。昼食は忘年会を兼ねて地元の有名料理を注文する。

・来年の3/15・16に実施予定の「山の天気ライブ授業」は講師の意向も確認して最終案ができたので、これから2段階に分けて募集を開始することにした。

(3) その他

・森より、9/29に実施した学術講演会のアンケートの集計結果について説明があった。次いで支部長が作成した報告書の会報用原稿について説明があった。

・中島より、来年5月に実施する第2回の岡野金次郎碑前祭の実施体制について説明があった。

・永井より、データ取り扱い量が膨大になってくるのに対応するため本部で進めているグーグルドライブについての説明があり、神奈川支部の項までたどり着けるか各自試みて欲しいとの要請があった。

・永井より、支部設立10周年行事をどの時期に行うかという紹介があった。

・永井より、今年の晩餐会翌日の記念山行は12/8に千葉の鋸山で行うことになった旨の紹介があった。

・かながわ山岳誌は在庫切れとなり、残りは支部役員が個人的にストックしているのみとなった。購入申し込みがあった場合の対応は、ストックしている永井・田島・中島で協議し統一見解を出すことにした。なお、支部で所有している10冊分は手を付けないことにした。

・永井より、次期体制の検討会で審議した結果、次期支部長に大槻副支部長を選出した旨の報告があり、役員会で承認された。この結果、込田支部長は本日をもって退任し、大槻氏が支部長代行

に就任した。来年5月の支部総会の承認を得て、正式に支部長に就任する。この件は本部にも報告する。なお、今回の選出方法は止むを得ず検討会を設けたが、これを前例としないことを確認した。

・葉上より、本部の古道プロジェクトでは来年の現地山行を、4/26(土)に大分県国東半島の二子山で行うことになった旨の紹介があった。

11月役員会

日時：令和6年11月21日(木)：19:00～20:50

場所：かながわ県民センター705会議室

出席者：大槻支部長代行、永井事務局長、込田、長島、中島、出江、森

オンラインでの参加：早川、落合、葉上、植木

オンラインでの参加の監事：砂田、高井

委任状による出席：渡邊、廣岡、田島、柴山

[報告事項]

(1) 連絡事項

・晩餐会(12/7新宿京王プラザホテル)の参加申し込みは、11/18現在15名。

・晩餐会山行(12/8鋸山)の申し込みは11/18現在3名。

(2) 山行報告

・埼玉支部主催で10/20に南関東ブロック三支部合同懇親山行を日和田山で実施。参加者は埼玉支部16名、東京多摩支部13名、神奈川支部1名。その他に、本部2名、千葉支部3名。

・城跡ハイキングとして11/9に入生田駅～分岐①～分岐②～石垣山城跡(見学・昼食)～分岐③～早川を実施。参加者は支部会員10名、一般参加8名。

・11/16に予定していた山行委員会主催の大菩薩嶺の山行は、参加希望者が少数だったため中止とした。

[審議事項]

(1) 年間計画

・来年度支部総会は、5/24に県民センター604会議室(定員36名)で行う。

(2) 山行計画

・関東ふれあいの道 第8回山行として、12/1に二宮駅南口=(バス)=月京バス停～東の池～鷹取山神社～鷹取山～湘南平分岐点～路傍休憩地(昼食)～妙円寺(土屋銭洗い弁財天)～神奈川大学交差点(コンビニ)～土屋一族の墓～南平橋バス停=(バス)=秦野駅を実施予定。現時点での参加希望者は11名。

・12/8の晩餐会山行は、千葉の鋸山で実施。当支部からの参加希望者は現時点で3名。

・山行委員会主催で、12/15に伊勢原駅北口=(バス)=日向薬師BS～学習センター～日向越(雷峠)～見晴台～阿夫利神社下社～(ケーブル利用可)～大山ケーブル駅～ねぎし旅館(昼食)～大山ケーブルBS=(バス)=伊勢原駅北口を実施予定。

昼食は忘年会を兼ねて地元の有名料理を注文する。現時点での参加希望者は13名。

・城跡ハイキングとして、1/11に京王線京王よみうりランド駅～小沢城(見学・昼食)～JR稲田堤駅=(南武線)=登戸駅=(小田急線)向ヶ丘遊園駅～榊形山～向ヶ丘遊園駅を実施予定。

・関東ふれあいの道 第9回山行として、2/1に秦野駅北口=(バス)=南平橋バス停～白山神社～浅間山入口～権現山～弘法山～R246トンネル入口～旧道(矢倉沢往還)分岐点～吾妻山分岐点～吾妻山～坪ノ内バス停～関東ふれあいの道案内板～坪ノ内バス停=(バス)鶴巻温泉駅または伊勢原駅北口)を実施予定。

・来年の3/15・16に実施予定の「山の天気ライブ授業」の参加希望者は、現時点で3/15の座学が17名、/16の現地講習が13名。

(3) その他

・中島より、岡野金次郎の評伝「孤高の登山家」の出版を記念して、その内容を広く周知することを目的として、その著者による講演会を一般参加を広く募って、県民センター会議室で4/27に実施することが提案され承認された。この際座談会を付け加えて充実化を図ってはとの意見があり、検討することになった。

・中島より、5/10に実施する第2回岡野金次郎碑前祭についての概要が提案され承認された。雨天時の対応や懇親会の開催についての意見が出され、検討することにした。

・早川より、12/22に日本赤十字社神奈川県支部(5階ボランティアサロン)でアウトドア救急法の講習会を赤十字社と共催で実施することになったので参加依頼があった。

・中島より、「引き継がれる山岳祭」に関して、来年度もパンフレットと冊子を作成することになったとの報告があった。

支部会員動静

- ・A0347 山田美幸 JACを退会(3/31)
- ・16598 田口光江 JACを退会(4/20)
- ・9663 宮本忠直 物故(8/20)
- ・オパックス山恋会 JAC(&支部)入会(8/20)

今後の予定

役員会

- 1月16日(木)19時～709会議室
 - 2月20日(木)19時～709会議室
 - 3月19日(水)19時～705会議室
 - 4月17日(木)19時～705会議室
 - 5月15日(木)19時～709会議室
 - 6月19日(木)19時～709会議室
 - 7月17日(木)19時～710会議室
- 於：かながわ県民センター

支部総会

- 5月24日(土)午後(詳細追而)604会議室

イベント(城跡ハイキング)

- 1月11日(土)小沢天神山城・榊形山(川崎市)
- 3月8日(土)衣笠城・怒田城(横須賀市)
- 5月10日(土)大磯高麗山城

イベント(関東ふれあいの道ハイキング)

- 2月1日(土)弘法大師と桜のみち
- 4月12日(土)太田道灌・日向薬師のみち
- 6月14日(土)順礼峠のみち

イベント(自然観察会)

- 2月15日(土)皇居一周探鳥会
- 4月26日(土)八菅山と鳶尾山
- 6月7日(土)舞岡公園

イベント(その他)

- 3月15日(土)山の天気ライブ授業(座学)
(県民センター)
- 3月15日(土)・16日(日)・20日(水)
救急救援講習(日赤神奈川県支部)
- 3月16日(日)山の天気ライブ授業(大野山)
- 4月27日(日)14:00～15:00
岡野金次郎に関する講演会(県民センター)
- 5月10日(土)14:30～15:40
第2回岡野金次郎碑前祭(湘南平)

あとがき

支部報の発行が遅れて誠に申し訳ございません。心よりお詫び申し上げます。

城跡ハイキング、関東ふれあいの道ハイキング、自然観察会などの定例的なイベントは天候に恵まれ、順調に実施されております。また、救急法救命員養成講座(学科と実技)、及び山の天気ライブ授業を今年3月に実施予定です。皆様におかれましては、積極的なご参加を宜しくお願い致します。

発行：日本山岳会神奈川支部 支部長代行：大槻利行

編集者：田島、永井、葉上

令和7年1月20日